国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

《同時発表》
国土交通省港湾局
佐野市

令和２年２月13日
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

「みなとオアシスさの」を登録します

～水辺の無い港から「みなと」に触れてみよう！～

国土交通省港湾局は、令和２年２月２２日に「みなとオアシスさの」（栃木県佐野市）を港の賑わい拠点となる「みなとオアシス」に登録します。

代表施設である「佐野インランドポート」等において、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われ、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながることが期待されています。

○「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。

○「みなとオアシスさの」の登録により「みなとオアシス」は全国 136 箇所になります。

○ 2 月 22 日（土）13：00 から「みなとオアシス登録証交付式」が行われるとともに、佐野ブランドキャラクター「さのまる」の誕生日を祝う「さのまるの日」イベントが開催されます。
（イベント詳細についてはこちら https://www.city.sano.lg.jp/sanomaru/oshirase/20200225.html）

「みなとオアシスさの」のポイント!!

★ 代表施設「佐野インランドポート」は、海上コンテナ輸送の内陸拠点となる物流施設で、コンテナ輸送施設の見学会や、つながりの深い京浜港・茨城港の PR を通じて、内陸にいながら「みなと」を感じることができます！

★ 佐野駅前交流プラザ「ぱるぽーと」で開かれる「ぱるぽーとマルシェ」では、北関東自動車道で通じるひたちなか市から魚屋が出店し、新鮮な海の幸が購入できます！

★ 「道の駅どまんなかたぬま」では、三陸の牡蠣を食べることができる「牡蠣小屋」を開催！日本の”どまんなか”で”みなと”を味わえます！

【代表施設】佐野インランドポート

ぱるぽーとマルシェ

牡蠣小屋

問い合わせ先
国土交通省関東地方整備局　港湾空港部　計画企画官　奥田（おくだ）　隆（たかし）
（電話）045-211-7416　　（FAX）045-211-0204

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会

「みなとオアシス」の概要

国土交通省

別紙－１

○みなとオアシスとは

・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
・地域の観光及び交通に関する情報提供
・その他（災害時の支援、商業機能　など）

○みなとオアシスの構成施設

・旅客ターミナル
・地元産品の物販飲食店
・文化交流施設　など

○みなとオアシスの設置者・運営者

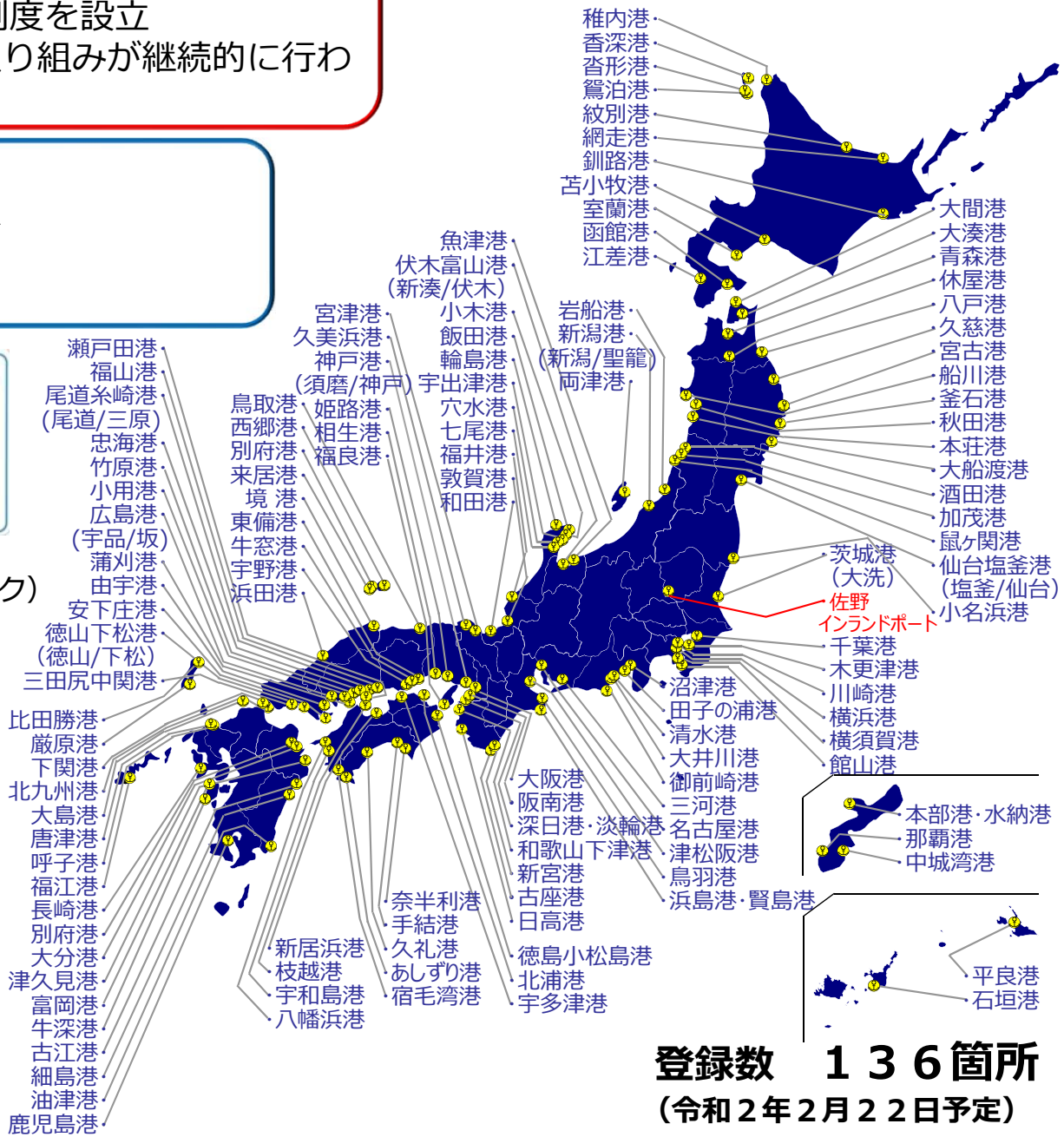
・地方公共団体（港湾管理者含む）
・NPO団体、協議会　など

標章
（シンボルマーク）

構成施設のイメージ

地域振興イベントの開催状況

みなとオアシス所在港湾の一覧



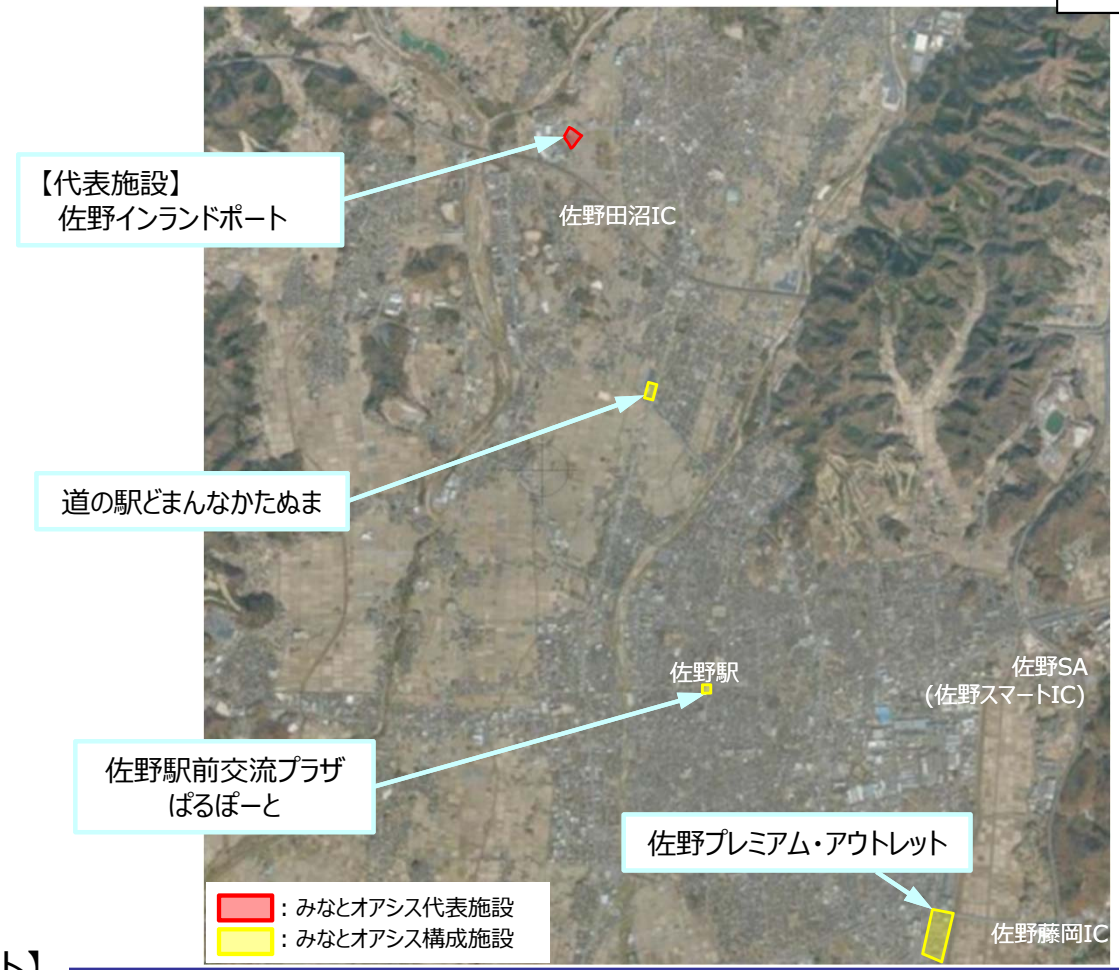
登録数　１３６箇所
（令和２年２月２２日予定）

【概要】みなとオアシスさの

国土交通省

別紙－2

国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに国土交通省作成



【基本情報】	
設置者	佐野市
運営者	佐野市みなとオアシス運営協議会
所在港湾	佐野インランドポート
港湾管理者	栃木県佐野市
登録日	令和２年２月22日

【代表施設】

佐野インランドポート

【主なイベント】

佐野インランドポート見学会

ぱるぽーとマルシェ

牡蠣小屋

国土交通省

別紙－３

佐野インランドポート

佐野市の内陸コンテナデポとして、つながりの強い「みなと」の情報発信を行う拠点です。地域住民が利用する多目的ホールやドライバーの休憩所など、多様な人が行き交っています。佐野市で最も港湾に関係する公共施設として、「みなと」のPRを行っています。

佐野プレミアム・アウトレット

三毳（みかも）山を背景に、緑豊かな環境に建っています。

アメリカ西海岸の都市をイメージした建物に、約170の店舗が集まったアウトレットモールです。佐野藤岡ICからのアクセスが良いことから、関東各県はもとより東北地方からの利用者も多いです。

佐野駅前交流プラザぱるぽーと

佐野市の玄関、佐野駅前にある「ぱるぽーと」。「まちなか」の市民交流の促進や観光客の方々への新たな情報発信の拠点として、公共交通の待合所、観光案内コーナー、らーめんミニ博物館、多目的ホール、子育て支援プラザがある、誰もが気軽に立ち寄れる施設です。

道の駅どまんなかたぬま

日本列島の中心地にある佐野市の田沼地区。農産物直売所やレストランがそろう道の駅です。地元の野菜や物産の展示販売のほか、海産物の産地とタイアップした物産展や牡蠣小屋などのイベントが開催され、市内外からの来客で賑わっています。

「みなとオアシスさの」 佐野らーめん・いもフライ・さのまる 魅力あふれる街 佐野

国土交通省

別紙－３

食　佐野らーめん

大正時代に中国人の料理人が青竹打ちを伝授したのが佐野らーめんのルーツとされています。
伝統の技“青竹打ち”から生まれる縮れ麺に、佐野市のおいしい水でつくるダシとコクにこだわったスープが絡まり独自の旨味を引き出します。

キャラ　さのまる

佐野らーめんのお椀の笠をかぶり、腰にはいもフライの剣を差した佐野の城下町に住む侍です。前髪は麺で出来ています。世界に佐野の魅力をアピールすべく、お椀の笠には雷文模様の代わりに、外国の方にもわかるローマ字表記の「SANO」が書かれています。ゆるキャラグランプリ2013では、グランプリに輝きました。

文化　唐沢山城跡

唐沢山城跡は、標高242mの山頂を本丸として広範囲に城造りの跡が残っている国指定史跡の山城です。面積は194haにものぼり、本丸南側には高さ8mを超える高石垣を有しています。

食　いもフライ

蒸したジャガイモを串に刺して衣をつけて揚げた後、地元産のソースをかけて仕上げたもの。甘味とホクホク感のあるジャガイモが特製ソースとマッチしています。

食　佐野黒から揚げ

佐野黒から揚げは、ソース味で、衣がガリっとクリスピー、後味がピリッとスパイシーな、ヤミツキになる超新星の唐揚げです。

名産品　天明鋳物

約１千年の歴史を持つ。特に茶の湯釜は「西の芦屋　東の天明」と言われ、千利休も使用したといわれる名品です。
手仕事ならではの繊細な感性・技術・情熱が感じられます。

イベント　佐野秀郷まつり

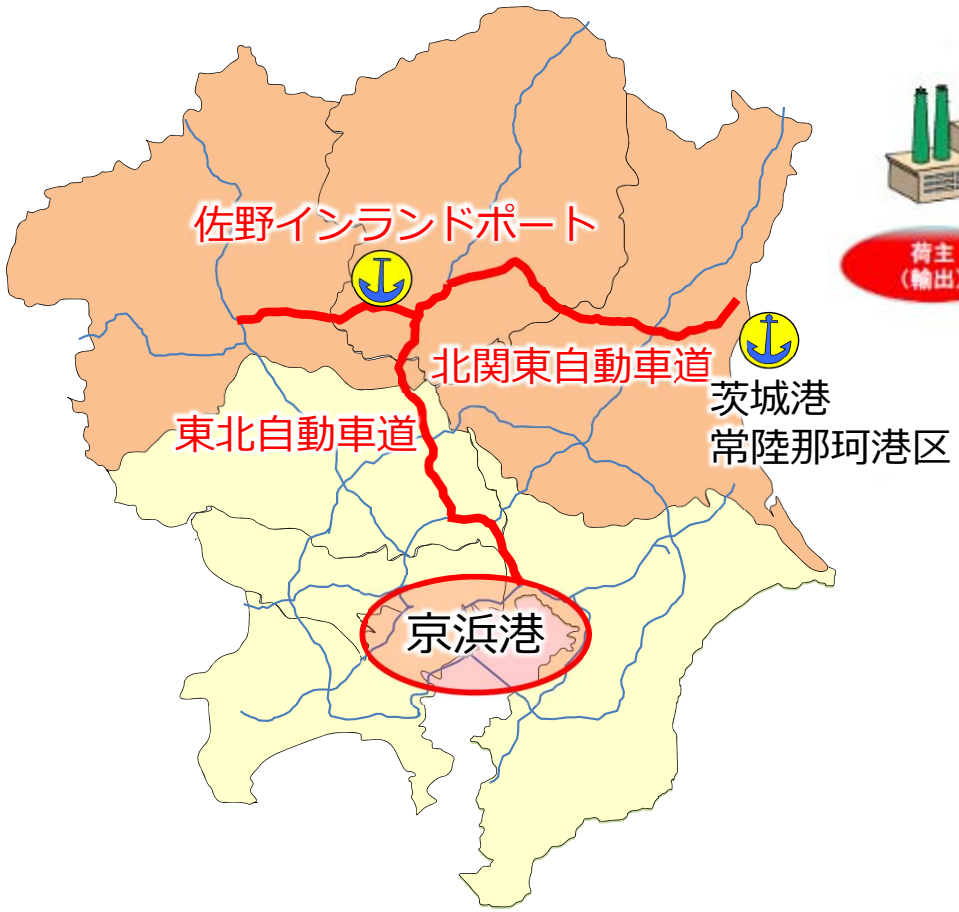
佐野の夏を飾る最大のイベントで、弓の名手であった藤原秀郷を称え行っている秀郷流流鏑馬や市民総踊り、みこし・おはやし巡行など多様な催しいっぱいです。

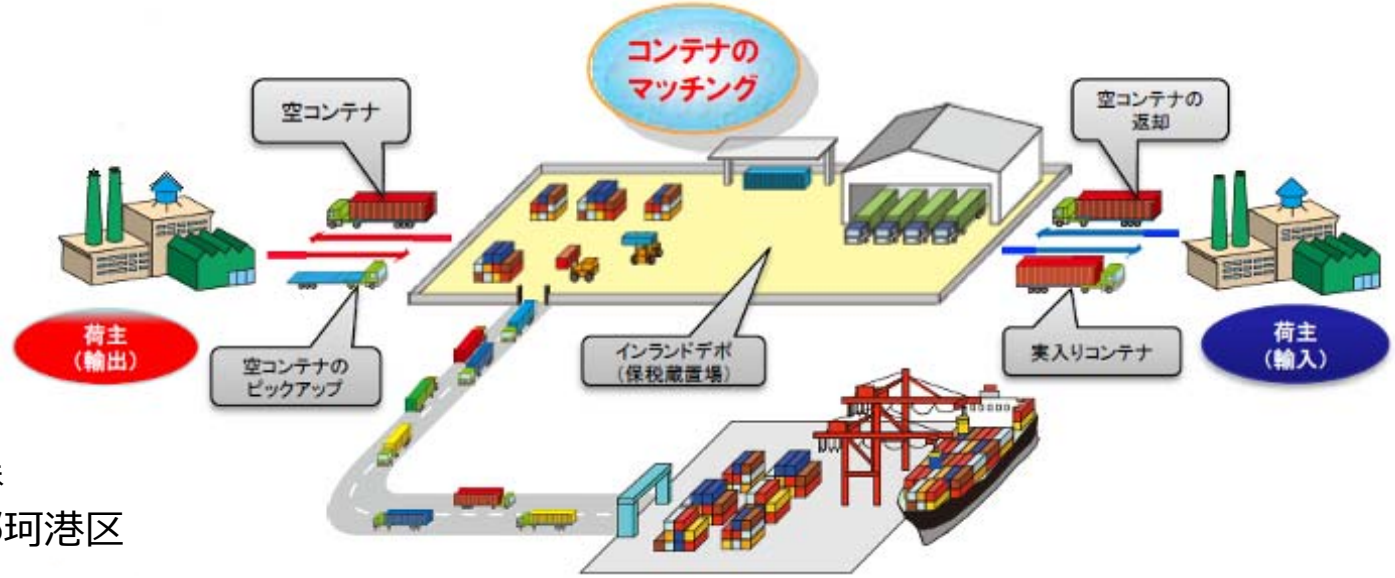
インランドポートって？

国土交通省

別紙－3

インランドポートとは、
『輸出入貨物の内陸輸送ルートに作られた輸送基地』のこと。





＜インランドポートの主な役割＞

- 海上コンテナへの荷物の積み込みを内陸で行うことで、港周辺の混雑を防ぐことができる。
- 空コンテナの返却を内陸で行うことで、内陸の荷主が港まで行かずに済む。
- 内陸で輸出の手続き（通関）を行うことで、港に着いてすぐに荷物を船に積むことができる。

港と直通の道路網に「内陸のみなと」を作ることで、内陸での輸送を効率化したり、港の混雑を緩和したりするなど、港湾物流の効率化が図れます。

「みなとオアシスさの」への交通アクセス

国土交通省

別紙－4

交通アクセス

＜佐野インランドポート＞
- ○北関東自動車道 佐野田沼ICから車で約5分
- ○東武田沼駅からタクシーで約4分

＜佐野駅前交流プラザぱるぽーと＞
- ○佐野駅直通

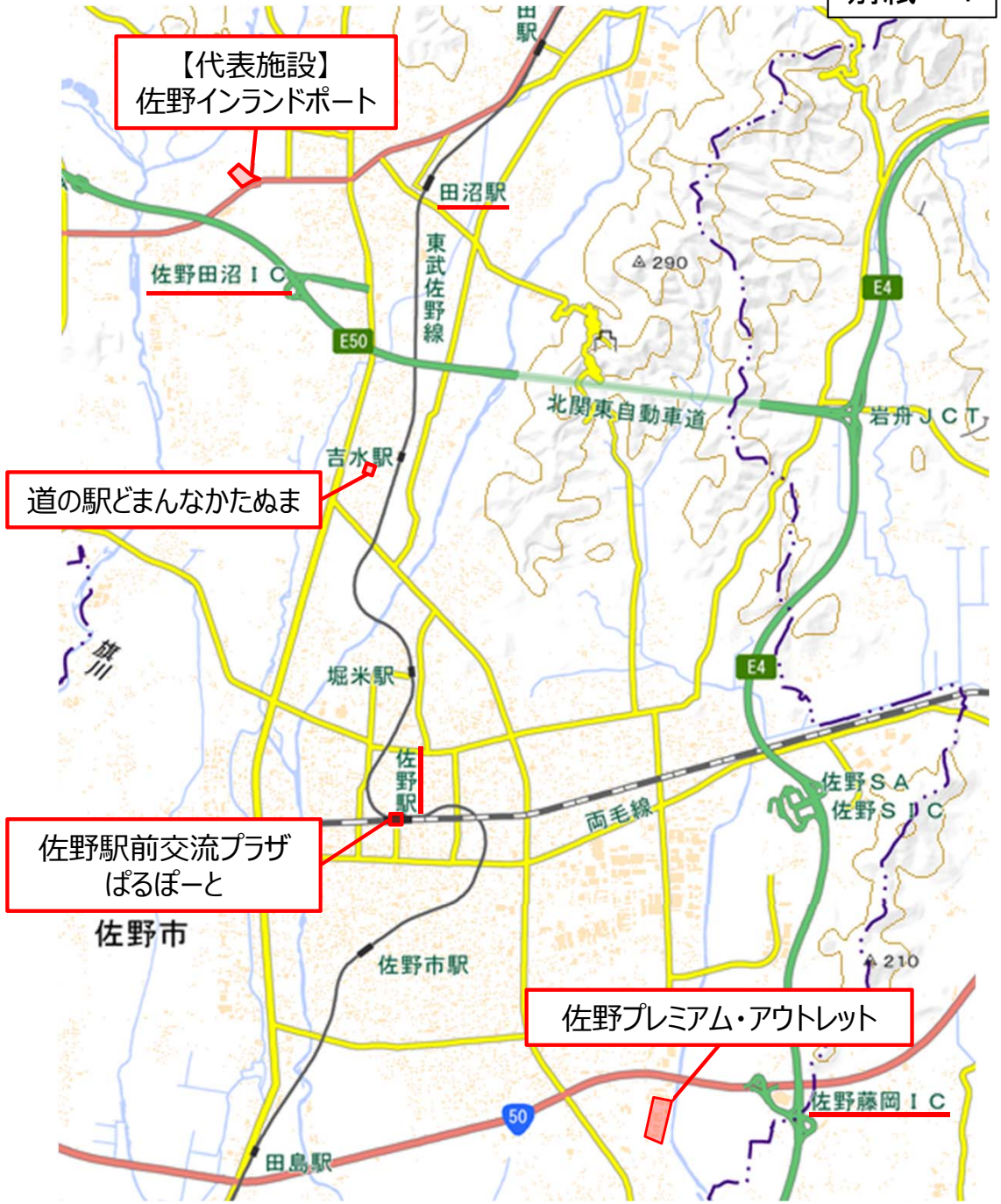
＜道の駅どまんなかたぬま＞
- ○佐野田沼ICから車で約4分
- ○吉水駅から車で約3分
- ○佐野駅より佐野市営バスで約20分

＜佐野プレミアム・アウトレット＞
- ○佐野藤岡ICから車で約2分
- ○佐野駅より市営バス/市内循環バスで約20分
- ○東京駅から高速バスで約1時間35分

観光案内の問合せ先

○みなとオアシスさのに関すること
佐野市役所　北関道沿線開発推進課
TEL：0283-20-3045

○市内観光情報に関すること
佐野駅前交流プラザぱるぽーと
TEL：0283-27-0005



国土地理院地図（電子国土Web）(http://maps.gsi.go.jp)をもとに作成